

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) JFEケミカル株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号JFE蔵前ビル4階	
本票作成	部署名：西日本製造所 安全環境管理室				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容；コールタールの蒸留及び化学製品、無機材料の研究、開発、製造および販売 ・従業員；325名(令和6年7月現在)・タール蒸留量；334.1千t/年 				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	笠岡工場		岡山県笠岡市鋼管町9番2	
	②	倉敷工場		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量		目標年度(令和6年度)	
	147,966 t CO ₂	155,982 t CO ₂		140,743 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和5)年度排出量	
	①	笠岡工場		90,029 t CO ₂	
	②	倉敷工場		65,953 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度 ~ 令和6年度 (5箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△3.8%	5.0%	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 設備別の補正装入量の合計	原単位当たり排出量			
		基準年度	(5)年度	目標年度	
		225.00	233.55	214.00	
	t CO ₂ /(千t)	t CO ₂ /(千t)	t CO ₂ /(千t)		
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
(1)笠岡工場は、BTX加熱炉燃料として中間製品(水添油)の利用によりCO ₂ 排出量原単位が若干増加した。 (2)倉敷工場は、タール生産量の減少および電池材での原単位が低い生産品目への構成変化が大きく影響した為、CO ₂ 排出量原単位が大幅に増加した。 上記(1)、(2)により、令和5年度の両工場合わせたCO ₂ 排出量原単位は233.55(CO ₂ t/千t)となり、対基準年度のCO ₂ 排出量原単位に対し3.8%増加の未達となった。来年度からは、新たな目標値に向けて目標達成できるよう取り組んでいきたい。					

【推進体制】

半期毎の予算編成時に省エネの管理部署が各部署の省エネテーマを吸い上げ計画を策定し、実行、またそれを製造所（工場）で組織的にフォローしている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
笠岡工場	(令和5年度実施分) ・化成品設備照明のLED化による省エネ ・化成品MP-3設備の蒸気トラップ更新 (今後実施予定分) ・化成品設備の並列運転ポンプの片側運転化
倉敷工場	(令和5年度実施分) ・2回分留出油クーラー更新 (今後実施予定分) ・制御自動化による生産時間短縮（酸化鉄水洗水添加自動化） ・熱交換器の伝熱面積最適化による省蒸気（1回分留出油クーラー） ・製造条件最適化によるダウンタイム抑止（HC融着対策）

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--